

Ophthalmic Workstation ST-80



Aiming at new levels in quality



2つの機能を融合

タカギが永年取り組んできたモーター駆動による「オートスライド」機構。その機構に手動でスライドできる機能を新たに追加し、2つの機能を融合させました。「手動スライド」は、テーブル先端中央部分裏にあるレバーを握りながらテーブルを引く、または、押すことによりテーブルをスライドさせることができます。

オートスライドと手動スライドを自由に使い分け

ST-80は「オートスライド」と「手動スライド」何れの機能も自由に使い分けることができます。たとえば、患者さんの状態によってドクターが自ら手で引き出した方がよいと判断された時は「手動スライド」でテーブルを引き出し、戻すときは自動でも大丈夫と判断された時は「オートスライド」で収納するといった使い方が可能になりました。

オートスライド



手動スライド



スライドストロークを480mmに

スライドストロークを従来の470mmから480mmとしたため、足元の空間がより広くなりました。

誤作動を防ぐスイッチパネル

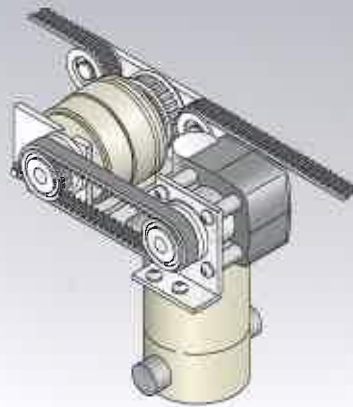
テーブルの昇降、スライドスイッチおよび患者用椅子の昇降スイッチは、立体的な構造により手や肘が誤って触れても誤作動を起こしにくくなっています。また、各スイッチは自照式で尚かつ動作が可能な状態のスイッチのみが点灯します。

※患者用椅子スイッチは、昇降限界で消灯する機能がありません。

革新的なメカニズム

オートスライド、手動スライドを自由に使い分けするために、電磁クラッチとタイミングベルトを用いた革新的な機構を開発しました。オートスライド、手動スライド共に自然な操作性と高い耐久性、静粛性を実現しています。

テーブルスライド機構



患者用椅子の昇降も手元で可能

患者用椅子の昇降スイッチもテーブル部に設けました。これにより患者用椅子のフットスイッチが無くなり、足元の安全性が向上しました。また、このスイッチは他のスイッチと色分けすると共に、立体的な境目によって区別が付き易くなっています。

※患者用椅子(電動小椅子)はオプションです。
※接続可能な患者用椅子は当社製品のみです。

電動小椅子
CR-650S



広がったアームレストスペース

従来に比べ、スライド方向に40mm患者さんとドクター間方向に95mmアームレストスペースが拡大され、肘のせ台が余裕で置けるようになりました。そのため腕が自然な角度で固定できます。



スライドセーフティスイッチ

テーブル先端のセーフティスイッチは、オートスライド時に押す、または、人や物に当たるとスライドが停止します。従来より面積を広くすると共にテーブルとの色の区別により、その機能を咄嗟の時に理解し易くしています。

昇降セーフティスイッチ

テーブル裏に患者さんの膝が当たると、テーブルと椅子の昇降が停止します。更にスイッチパネルには、この機能が作動したことによって停止していることを示す警告灯が点灯し、ドクターにお知らせします。

昇降ストロークを大幅増

テーブルの昇降ストロークが従来に比べ大幅に増えました。最低670mmから最高920mmまで昇降できるため、様々な体格の患者さんに対して幅広く対応できるようになりました。

耐薬品性の向上

テーブルは、素材と構造の改善により耐薬品性が向上しました。また、スイッチパネルは、シリコンゴムによる一体化により、液体の進入を防ぐことができます。アルコールによる清拭などによって故障や変質を起こしにくくなりました。

※完全な耐薬品性や防水性を保障するものではありません。

テーブル高さの変更が可能

センターコンソール、ドクターデスク、サイドテーブルは高さを変更することが可能です。ドクターの好みや使用環境に応じてセンターコンソール、ドクターデスク、サイドテーブルを最低700mmから最高815mmまでの範囲で、設置時に指定していただくことができます。

※各々を違った高さにすることはできません。



コンピューターに対応

サイドテーブル下に、コンピューター本体を収納できるコンピューター用ラックをオプションで用意しました。キーボードトレイと合わせて、コンピューターを快適にご使用いただくことができます。

また、コンピューター用ラックは、サイドテーブル下に吊り下げて、ビデオプリンターやテレビカメラのコントロールユニットを載せることもできます。

卓上灯を標準装備

ドクターテーブル奥の卓上灯を標準装備しています。センターコンソール上のダイヤルで調光が可能で、更にテーブルのスライドと検眼鏡の使用に連動して明るさが変化します。

室内灯用リレーを標準装備

テーブルのスライドと検眼鏡の使用に連動して、診察室の照明をON/OFFできるリレースイッチを内蔵しています。

※対応可能な照明の容量は500VAまでです。

※接続には予め配線工事がなされていることが必要です。

スペースに適したシステムを構築

診療スペースに制約がある場合でも、組み合わせによりそのスペースに適したシステムを構築していただくことが可能です。

例えば基本システムでは、本体横幅が1300mmと大変コンパクトですが、サイドテーブルⅡ(横幅500mm)を追加すると1800mmとなり、サイドテーブルⅠ(横幅750mm)を追加した場合は2050mmとなります。

快適に検眼鏡を使用

倒像鏡、直像鏡の収納部は形状の変更により使い易さが更に向上しました。また、この位置はコードが常に下にあるため卓上でコードが邪魔になることがありません。

倒像鏡、直像鏡はセンターコンソール上のダイヤルで各々の調光が可能です。また、設置時に最大電圧を設定できるため、不用意にダイヤルを最大に回しても設定以上の電圧にならず安全です。

ドクターデスクを拡大

ドクターデスクの奥行きを従来の580mmから650mmに拡大したため、背面と壁との間に隙間を作らず設置が可能となりました。

フットライトにLEDを採用

足元を照らすフットライトに、白色発光ダイオード(LED)を採用することにより、メンテナンスがほとんど必要なくなりました。

左右レイアウトに対応

診療のスタイルに合わせて、ドクターがスリットランプに向かった状態で、本体を右側に設置するBタイプと、左側に設置するAタイプが用意されています。

各社のスリットランプが取付可能

別売の「スリットランプ取り付けキット」により、各社のスリットランプを取り付けることが可能です。「スリットランプ取り付けキット」は、各器種に対して最適な電源を供給します。

また、スリットランプ本体に調光ダイヤルが無いタイプでも、「スリットランプ取り付けキット」によりテーブル部分で調光が可能となります。

※一部の器種ではスリットランプに付属の電源を必要とする場合があります。また、テーブル部分で調光できないことがあります。

検眼鏡の充電が可能

センターコンソールには充電式の検眼鏡を充電できるチャージボックスを装備しています。

※充電には、別売のアダプターを必要とする器種や、適合の有無が確認されていない器種があります。

豊富なオプションを準備

ストレートポールにはランプアームをはじめとして、LCDアーム、モニターアーム(ブラウン管用)、双眼倒像鏡アームなどが取付可能です。ドクターテーブルには、カウンタートップ、キーボードトレイなどが取付可能です。

また、サイドテーブルは2種類の幅を選択いただくことができるようになり、診察室の広さに対して、より柔軟な対応が可能となりました。

車椅子での使用に対応

患者さんが車椅子に乗ったままでも使用することが可能です。

テレビカメラのケーブルをテーブル側面に収納

スリットランプに取り付けられたテレビカメラのケーブルをスライドテーブル部側面に収納し、患者さんの邪魔にならないテーブル端から外に出すことができます。

めがね置きスペースを装備

本体患者側にめがね置きスペースを設けました。ここに患者さんのめがねを置いていただくことができます。皿状で底面はめがねの形状をしているため、患者さんに視覚的にめがねを置く場所であることを知らせます。また、白色発光ダイオード(LED)による照明も装備しています。



オプション

豊富なオプションの中から必要に応じてお選びいただくことができます。

ランプアーム U03-12 (100V60W)



卓上灯と同様に明るさが変化します。

LCDアーム B05-51



VESA規格の取り付け穴が背面にある20インチまでの液晶モニターが取り付け可能です。

キーボードトレイ B05-33



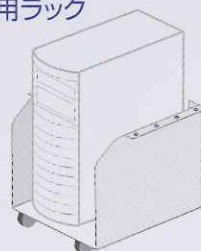
卓上灯に取り付け、卓上灯を軸として手前に回転できます。

モニターアーム B05-28



14インチの業務用モニターテレビを載せることが可能です。
(トレイ内寸350mm×390mm)

コンピューター用ラック B05-44



コンピューター本体を収納できます。

カウンタートップ B05-27



ドクターテーブル面を基準として、高さを300mmから400mmの間で自由に取り付けることができます。

双眼倒像鏡アーム B05-34



取り付け可能器種は、ナイツ社IO-α、ハイネ社オメガ、キラー社バンテージで、いずれも各社の壁掛け用トランスを使用します。

サイドテーブルIA B05-23

サイドテーブルIB B05-24

サイドテーブルIIA B05-25

サイドテーブルIIB B05-26

サイドテーブルは、本体の方向と同じタイプをご指定ください。
Iは横幅750mm、IIは横幅500mmです。

その他オプション

チェア用中継コード B05-35

ST-80とCR-550Sを接続する場合必要となります。

ビューテスターアーム B05-31

ビューテスター VT-5を取り付けることが可能です。

プロジェクターアーム B05-29

チャートプロジェクター CP-40を取り付けることが可能です。
※CP-40は日本語に対応していません。

スリットランプ取り付けキット

スリットランプを取り付けるためには、「スリットランプ取り付けキット」が必要です。「スリットランプ取り付けキット」については、各社用を用意しております。器種により価格、取り付け方法が異なります。詳しくはお問い合わせください。

フルリクライニングチェア UN-21

患者椅子とリクライニングチェアを兼用できます。



電動小椅子 CR-650S

ST-80との接続が可能です。



Ophthalmic Workstation

ST-80

「融合」という名の新しい機能

オートスライドと手動スライド 2つの機能を1台に

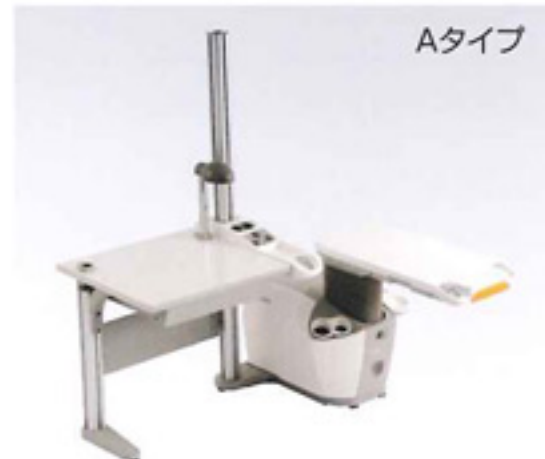


右の写真が基本構成となります。
設置の方向により、AタイプBタイプ
をご指定ください。

Bタイプ



Aタイプ

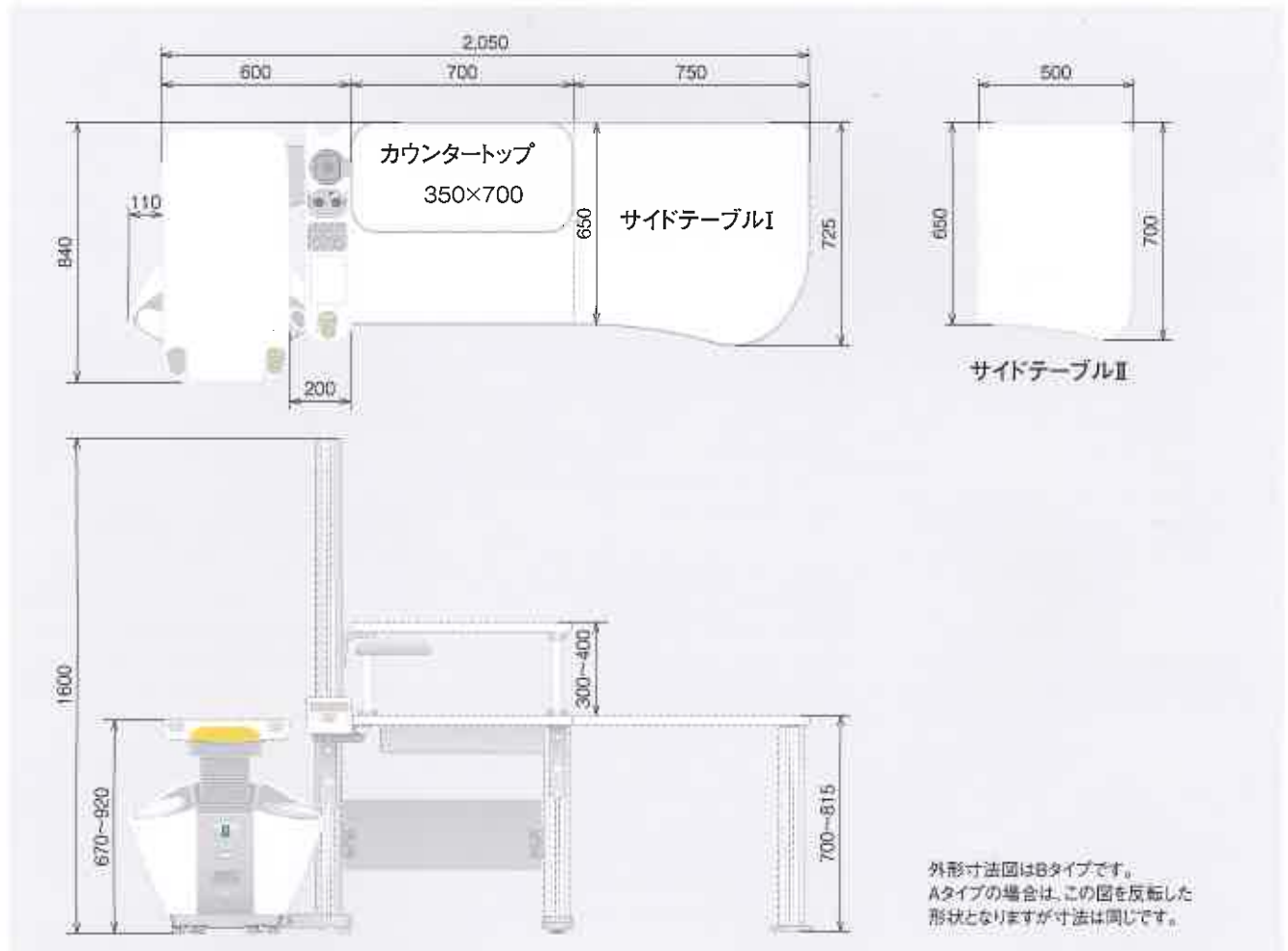




仕様

販売名	オフサルミックワークステーション ST-80
最低高さ	670mm
最高高さ	920mm
スライドストローク	480mm
スライドスピード	1工程最大3.6秒～最少5.2秒で可変可能 *1工程はIN又は、OUTスイッチを押し480mmスライドして停止するまでを指します。
スイッチビープ音	ON,OFF可能
許容荷重	30kg
スリットランプ電源部	最大をAC6V,7.5V,9V,12V30W,12V50Wに切り替えて供給可能 直視灯-AC6V
検眼鏡電源部	倒像鏡最大電圧:AC6V,7.5V,10V,12V 直像鏡最大電圧:AC2.5V,3V,3.5V,4V,6V チャージボックス:右側充電可能(充電状態表示機能付き) 左側は収納部
車上灯	E17ミニクリプトン球 100V40W
電源	AC100V
消費電力	1500VA
予備用コンセント	本体背面:2口/ストレートポール下部:3口 *5口合計で500VA
重量	141kg(オプション別、ウエイト含む)

寸法図



●製品向上のためデザイン、仕様が本カタログと異なることがあります。

機械器具01 手術台及び治療台 13958009 汎用診断・処置用テーブル 一般医療機器

届出番号 20B2X00012000006



本 社 〒383-8585 長野県中野市岩船330-2
TEL.(0269)22-4512 FAX.(0269)26-6321
大阪営業所 〒561-0834 大阪府豊中市庄内栄町3-24-5
TEL.(06)6334-4512 FAX.(06)6334-4521
<http://www.takagi-j.com>